

令和2年度(2020年度)用

小学校国語科用

「新しい国語」 年間指導計画作成資料 【5年】

令和2年(2020年)7月16日版

※単元ごとの配當時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい国語」(第5学年)年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」,「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分その内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第5学年及び第6学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語>第5学年及び第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・判断力・表現力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

5年				
月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	この言葉、あなたならどう考える 2時間(話聞2) 教科書:P.10～11	●話の内容が明確になるように、互いに考えを伝え合うことができる。 ◇互いに考えを伝え合う。A(2)ウ 1 教科書の対話例を見て、話の内容が明確になるように、互いに考えを伝え合うという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 2 心に残っている言葉を紹介して、その言葉について考えたことを互いに伝え合う。 3 対話をして気付いたことを出し合う。 4 どのような点に気を付けて考えを伝え合ったかを振り返る。	【知・技】 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア ・話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。(1)イ 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらかし合ひ、考えを広げたりまとめたりしている。A(1)オ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習課題に沿って、進んで話の内容が明確になるように、自分の考えを伝えようとしている。	
4	事実と考えを区別しよう 2時間(書2) 教科書:P.12～13	●事実を客観的に書くとともに、その事実と考えとの関係を捉えて、事実と考えとを区別して書くことができる。 ◇事実と考えを区別して、表に整理して書く。B(2)ア 1 教科書 P.12・13 のグラフから分かる事実と考えられることを書いて、事実と考えを区別するという学習課題を確かめる。 2 教科書 P.12 のグラフから分かる事実と考えられることを書き、書いたものを見せ合って、気づいたことを話し合う。 3 教科書 P.13 のグラフから分かる事実と考えられることを書き、書いたものを見せ合って、気づいたことを話し合う。 4 事実と考えを区別して書くことについて、学習したことを振り返る。	【知・技】 ・情報と情報との関連付けの仕方を理解している。(2)イ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書き、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く事実と意見とを区別し、表に整理して書こうとしている。	・社会科の資料の読み取りに生かす。 ・算数科のグラフの学習と関連付ける。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>人物の思いを音読で伝えよう だいじょうぶ だいじょうぶ</p> <p>4時間(読4) 教科書:P.16～27</p> <p>【言葉の力】 聞き手に伝わるように音読をする</p> <p>【おさえる】 語り手と登場人物</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 想像したことを音読で表す。(4上「こわれた千の楽器」)</p>	<p>●登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉え、登場人物の思いが伝わるように音読をすることができる。</p> <p>◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに学習したことを振り返って、登場人物の思いが伝わるように音読をするという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 <p>【取り組む】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」という言葉に込められた思いを想像する。 3 自分が音読したいところを選び、「ぼく」とおじいちゃんの思いが表れるように、音読を工夫する。 4 音読を聞き合い、感想を伝え合う。 <p>【振り返る】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 想像したことを表すためにどのような音読の工夫をしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク <p>◎文章を音読している。(1)ケ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、これまでの学習を生かして、積極的に登場人物の相互関係や心情などを捉え、音読して伝えようとしている。 	
4	<p>図書館へ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.28～31</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 図書館の本の分類について理解を深める。(4上「図書館へ行こう」)</p>	<p>●日本十進分類法について理解を深めるとともに、図書館に置かれている様々な種類の本や資料について理解することができる。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本十進分類法について理解を深め、図書館にある様々な種類の本や資料について確かめるという学習の見通しを立てる。 2 図書館にはどのような種類の本や資料が置かれているかを確かめ、それらの活用方法について考える。 3 学習を振り返る。 	<p>【知・技】</p> <p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験を生かし、進んで日本十進分類法と図書館の様々な種類の本や資料について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の読書に生かす。 ・社会科や理科、総合的な学習などで調べる学習を行う際に、図書館の本を用いて調べる。 ・主体的に学校図書館や他の公共施設を活用する。
5	<p>筆者の伝えたいことをまとめよう 動物たちが教えてくれる海の中のくらし</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.32～43</p> <p>【言葉の力】 要旨をとらえる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 文章のまとまりを捉える。(4上「ヤドカリとインゲンチャク」)</p>	<p>●文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、まとめることができる。</p> <p>◇文章を読んで分かったことを文章にまとめる。C(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに学習したことを振り返って、文章の構成を捉えて要旨をまとめるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 <p>【取り組む】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 文章に書かれている内容を、叙述を基に押さえる。 3 文章の構成を考えながら読み、読み取ったことを整理する。 4 文章の要旨をまとめ、読み合う。 5 まとめた要旨を基に、考えたことを伝え合う。 <p>【振り返る】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 文章の要旨をまとめるためにどのような点に注目したかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開について理解している。(1)カ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C(1)ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、まとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を読む際に、文章の要旨を把握する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	漢字の成り立ち 2時間(知技2) 教科書:P.44～45	●漢字の成り立ちを理解することができる。 ----- 1 漢字の成り立ちを理解するという学習課題を確かめる。 2 漢字の四種類の成り立ちを知る。 3 教科書の練習題に取り組んだり、他の漢字について漢字辞典を利用して成り立ちを調べたりする。 4 漢字の成り立ちについて、学習したことを振り返る。	【知・技】 ◎漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ 【主】 ・これまでの学習を生かし、進んで漢字の成り立ちを理解しようとしている。	
5	知りたいことを聞き出そう 4時間(話聞4) 教科書:P.46～49 【言葉の力】 意図を明確にして聞く ----- 【既習事項との関連】 ・聞きたいことを中心に考えながら話を聞く。(4上「たしかめながら話を聞く」) ・話を聞いて質問する。(4上「たしかめながら話を聞く」)	●自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができる。 ◇インタビューをして、必要な情報を集める。 A(2)イ 【つかむ】 1 これまでに学習したことを振り返って、意図を明確にして聞くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 インタビューをするときに気を付けることを確かめる。 3 話を聞く意図や目的を確かめ、インタビューで聞きたいことを考え、整理する。 4 6年生にインタビューを行う。 5 インタビューで知ったことを基に、自分の考えをまとめる。 【振り返る】 6 話を聞き出すためにどのようなことに気をつけて聞いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、インタビューをして必要な情報を集めようとしている。	・総合的な学習の時間に、地域の方へインタビューをする。 ・理科で、実験結果からの考察を行う。 ・友達の発言を関係付け、整理した上で自分の考えを持つ。
6	環境問題について報告しよう 7時間(書7) 教科書:P.50～55 【言葉の力】 資料を活用して報告する 【おさえる】 図表を読む ----- 【既習事項との関連】 知らせたいことを新聞で伝える。(4上「みんなで新聞を作ろう」)	●集めた資料を活用し、引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。 ◇資料を用いて、調べたことを報告する文章を書く。B(2)ア 【つかむ】 1 これまでに学習したことを振り返って、資料を活用して報告するという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 テーマを決めて調べ、分かったことを整理する。 3 資料を効果的に使うことに気をつけ、調べたことを報告する文章の構成を考え、考えた構成を基に文章を書く。 4 評価を伝え合い、文章を手直しする。 【振り返る】 5 資料を用いて文章を書く時にどんなことに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、調べたことを報告する文章を書こうとしている。	・社会科や理科、家庭科、総合的な学習の時間などにおける資料活用を生かす。 ・多様な方法で情報を集め、自らの表現に活用する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>山場で起こる変化について考えよう 世界でいちばんやかましい音</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.56～73</p> <p>【言葉の力】 物語の構成をとらえる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 中心人物の変化を捉える。 (4上「走れ」)</p>	<p>●物語の構成を捉えて物語の全体像を具体的に想像し、読み取ったことに基づいて自分の考えをまとめることができる。 ◇物語を読み、自分の考えを伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、物語の構成を捉え、山場で起こる変化について考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「世界でいちばんやかましい音」を読み、物語の構成を捉える。</p> <p>3 山場を中心に、物語全体を通して起こった変化について考え、考えたことを友達と伝え合い、感想や考えをまとめる。</p> <p>振り返る</p> <p>4 単元の学習を通して考えたことを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・文章の構成や展開について理解している。(1)カ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像している。C(1)エ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に物語の全体像を具体的に想像し、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	
6	<p>文の組み立てをとらえよう ・ことばあつめ</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.74～77</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 主語、述語、修飾語の働きを理解し、文の構成を捉える。 (4上「文の組み立てと修飾語」)</p>	<p>●文の中での語句の係り方について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 文の構成を捉えるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 教科書の文例を読み、主語、述語の関係を押さえる。</p> <p>3 教科書の練習題に取り組む。</p> <p>4 文の構成について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使ったり、語感や言葉の使い方に関する感覚を意識して、語や語句を使ったりしている。(1)オ ◎文の中での語句の係り方について理解している。(1)カ</p> <p>【主】 ・これまでの学習を生かし、粘り強く文の構成を捉えようとしている。</p>	
7	<p>書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう</p> <p>6時間(読4書2) 教科書:P.78～89</p> <p>【言葉の力】 記事の書き手の意図を読む 【おさえる】 写真と文章の関係</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 実用的な文章の表現の違いを読み取る。(4上「広告を読みくらべよう」)</p>	<p>●文章全体の構成を捉えたり文章と図表などを関係付けたりして要旨を把握して、書き手の意図について考えることができる。 ◇二つの新聞記事を読み比べ、考えたことを話し合う。C(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、記事の書き手の意図を読み取るという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 教科書 P.80～83 を読み、新聞の特徴や役割、記事の構成と写真の役割を理解する。</p> <p>3 P.84・85 のA社とB社の記事を読み比べ、共通点や相違点を基に書き手の意図を考えて話し合う。</p> <p>4 書き手の意図と関係付けながら、記事と写真の関係を読み取る。</p> <p>5 新聞を持ち寄り、記事と写真に合った見出しを書く。</p> <p>振り返る</p> <p>6 どのようにして書き手の意図を読み取ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C(1)ア ◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている。C(1)ウ ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで要旨を把握し、書き手の意図を捉えて、考えたことを話し合おうとしている。</p>	<p>・社会科における新聞作りの活動に生かす。 ・情報を比較する。 ・発信者の意図を考えながらメディアの情報に接する。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	本は友達 2時間(知技2) 教科書:P.90～97	●読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、好きな本を探して読むことができる。 ----- 1 教科書の読書体験文を読み、読書の楽しさや意義を知る。 2 「五年生の本だな」や、P.96・97 で紹介している本などを参考にして、好きな本を探して読む。 3 読書の楽しさや意義について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ 【主】 ・読書の楽しさや意義に気づき、これまでの学習を生かして、積極的に好きな本を探して読もうとしている。	・生活の中の読書に生かす。 ・学級活動や道徳で学校図書館を活用する。 ・主体的に学校図書館や他の公共施設を活用する。
9	詩を読もう 紙風船/ 水のこころ 2時間(読2) 教科書:P.100～103 ----- 既習事項との関連 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、詩を音読する。(4上「ふしぎ／よかったなあ」)	●詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、想像したことが伝わるように工夫して音読することができる。 ◇詩を音読する。C(2)イ ----- 1 詩から想像したことが伝わるように音読するという学習課題を確かめる。 2 詩を音読し、想像したことや気付いたことを発表する。 3 詩の表現の工夫について考える。 4 想像を広げながら、工夫して詩を音読する。 5 詩の全体像を想像することや表現の工夫について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ・比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ・詩を音読している。(1)ケ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ ・「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていく。(1)オ 【主】 ・これまでに読んできた詩や経験を振り返って学習課題を明確にし、他の児童と意見を交換して自分の考えを深め、詩を音読しようとしている。	
9	問題を解決するために話し合おう ・生活の中の言葉 5時間(話聞5) 教科書:P.104～113 【言葉の力】 意図を明確にしながらか計画的に話し合う ----- 既習事項との関連 役割を考えながら話し合う。(4上「学校についてしようかいうことを考えよう」)	●意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ◇それぞれの考えを伝えるなどして話し合う。A(2)ウ ----- つかむ 1 これまでに学習したことや自分たちの普段の話し合いを振り返って、意図を明確にしながらか話し合うという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 取り組む 2 身の回りにある問題から解決したいものを探して、議題を設定する。 3 話し合いの計画を立てる。 4 意図を明確にして、グループで計画的に話し合う。 振り返る 5 どのようなことに気をつけて話し合いを進めたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ・図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。A(1)オ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで意図を明確にしながらか考えを広げたりまとめたりして、計画的に話し合おうとしている。	
9	敬語の使い方 2時間(知技2) 教科書:P.114～115	●敬語を理解し、相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。 ----- 1 敬語について知るといふ学習課題を確かめる。 2 敬語の種類や使い方を理解する。 3 敬語に書き換える練習題に取り組んだり、敬語を使った会話文を作ったりして、敬語の使い方について理解を深める。 4 敬語の使い方について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使っている。(1)キ 【主】 ・学習課題に沿って、積極的に敬語を理解し、適切に使おうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>物語のおもしろさを解説しよう 注文の多い料理店</p> <p>8時間(読5書3) 教科書:P.116～135</p> <p>【言葉の力】 表現のくふうを見つける</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 物語の構成を捉える。(5年「世界でいちばんやかましい音」)</p>	<p>●人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりし、見つけたおもしろさを解説する文章を書くことができる。 ◇物語のおもしろさを解説する文章を書く。 C(2)イ</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、表現の工夫を見つけて物語のおもしろさを解説する文章を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 「注文の多い料理店」を読み、物語の構成を確かめ、物語をおもしろくしている表現や仕掛けの工夫を探す。</p> <p>3 おもしろさの秘密を解説する文章を書き、友達と読み合う。</p> <p>【振り返る】</p> <p>4 どのような表現がおもしろいと思ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩や反復などの工夫に気づいている。(1)ク <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで表現の工夫を見つけ、物語のおもしろさを解説する文章を書こうとしている。 	
10	<p>古文に親しむ</p> <p>3時間(書1読2) 教科書:P.136～141</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 短歌に親しむ。(4下「百人一首の世界」)</p>	<p>●古文を読んで気づいたことや感じたことについて話し合ったり、自分の考えを書いたりして、自分の考えを広げることができる。</p> <hr/> <p>1 古文を読んで気付いたことや感じたことを話し合ったり、自分の考えを書いたりするという学習課題を確かめる。</p> <p>2 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」をそれぞれ音読し、言葉の響きを味わう。</p> <p>3 四つの古文から好きなものを一つ選び、気付いたことや感じたことについて、同じ作品を選んだ友達と話し合う。</p> <p>4 選んだ古文について、自分の考えを書く。</p> <p>5 古文の言葉の響きについて、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ ・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に古文を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>和の文化について調べよう</p> <p>和の文化を受けつぐ——和菓子をさぐる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな資料を活用しよう <p>13時間(読8書5) 教科書:P.142～157</p> <p>【言葉の力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を見つける ・資料を使って説明する <p>【おさえる】</p> <p>情報を整理して活用する</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要旨を捉える。(5年「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」) ・資料を活用して報告する。(5年「環境問題について報告しよう」) 	<p>●文章と資料を結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えることができる。</p> <p>●目的に応じて資料を活用し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。</p> <p>◇調べたことを報告するパンフレットを作る。C(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、必要な情報を見つけたり、資料を使って説明したりするという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「和の文化を受けつぐ」を読んで、筆者の説明の仕方を読み取る。</p> <p>3 「和の文化」について説明する観点に沿って調べ、情報を集める。</p> <p>4 情報を整理して報告の文章を書き、パンフレットを作る。</p> <p>振り返る</p> <p>5 どうやって必要な情報を集めたかや、分かりやすく説明するためにどのように資料を使ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(1)イ ◎「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ ◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に必要な情報を見つけたり論の進め方について考えたりし、書き表し方を工夫して、調べたことを報告するパンフレットを作ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科や総合的な学習の時間で、調べたことをまとめる。 ・複数の情報を整理する。
11	<p>伝えたい、心に残る言葉</p> <p>5時間(話開5) 教科書:P.158～163</p> <p>【言葉の力】</p> <p>伝えたいことが印象に残るように話す</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に伝わるように工夫して話す。(4年下「聞いてほしいな、心に残っている出来事」) ・組み立てを考えて物語を書く。(4年上「山場のある物語を書こう」) 	<p>●目的や意図に応じて、話の構成や表現を工夫して、伝えたいことが印象に残るように話すことができる。</p> <p>◇心に残っている言葉について、みんなの前で話す。A(2)ア</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、伝えたいことが印象に残るように話すという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 心に残っている言葉を思い起こし、伝えたい言葉を決め、話すための材料を集める。</p> <p>3 伝えたいことが印象に残るように、話の構成を考えて、話す練習をする。</p> <p>4 みんなの前で話す。</p> <p>振り返る</p> <p>5 話の構成や表現をどのように工夫して話したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。(1)イ ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く話の構成や内容、表現を検討して、みんなの前で話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間での学習発表に生かす。 ・日常のスピーチに生かす。
11	<p>和語、漢語、外来語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉 <p>2時間(知技2) 教科書:P.164～167</p>	<p>●和語、漢語、外来語の由来や区別について関心を持つことができる。</p> <hr/> <p>1 和語、漢語、外来語について、由来や特徴を知るとい学習課題を確かめる。</p> <p>2 和語、漢語、外来語について理解する。</p> <p>3 教科書の練習題に取り組む理解を深める。</p> <p>4 和語、漢語、外来語について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。(1)イ ◎語句の由来などに関心をもっている。(3)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、進んで語句の由来などに関心を持とうとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	朗読で表現しよう 大造じいさんとがん 8時間(読6書2) 教科書:P.168～185 【言葉の力】 人物像を想像する 【おさえる】 描写 ----- 【既習事項との関連】 表現の工夫を見つける。(5 年「注文の多い料理店」)	●描写を基に中心人物の人物像を具体的に 想像することができる。 ◇物語を読んで印象に残った場面を朗読す る。C(2)イ ----- 【つかむ】 1 これまでに学習したことを振り返って、人 物像を想像し、印象に残った場面を朗読 で表現するという学習課題を明確にし、学 習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 「大造じいさんとがん」を読み、大造じいさ んの人物像を想像する。 3 物語を読んでいちばん印象に残ったとこ ろを選び、朗読で表現する。 4 友達と互いの朗読を聞き合い、それぞれ のよさや、感じ方や考え方の違いを伝え 合う。 【振り返る】 5 思ったことや考えたことを朗読でどのよう に表現したかを振り返り、身につけた「言 葉の力」を確かめる。	【知・技】 ・文章を朗読をしている。(1)ケ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の相互 関係や心情などについて、描写を基に 捉えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、人物像や物語な どの全体像を具体的に想像したり、表 現の効果を考えたりしている。C(1)エ ・「読むこと」において、文章を読んで理 解したことに基づいて、自分の考えをま とめている。C(1)オ ・「書くこと」において、事実と感想、意見 とを区別して書いている。B(1)ウ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学 習課題を明確にし、学習の見通しを持 って、積極的に人物像を想像し、朗読 で表現しようとしている。	
12	反対の立場を考えて意見 文を書こう ・文章の種類 6時間(書6) 教科書:P.186～193 【言葉の力】 反対意見を考えて書く ----- 【既習事項との関連】 理由や事例を挙げて書く。 (4下「『ふるさとの食』を伝え よう」)	●自分の意見とその理由、反対意見への対応 を明確にして、文章全体の構成や展開を考 え、筋道の通った文章を書くことができる。 ◇意見文を書く。B(2)ア ----- 【つかむ】 1 これまでに学習したことを振り返って、反 対意見を考えて意見文を書くという学習 課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 「クラスをよりよくしていくにはどうすればよ いか」という話題に対して、自分の意見と その理由、反対意見とその対応を考える。 3 自分の意見と予想される反対意見を確か めて、二人組またはグループで意見を交 流する。 4 説得力のある文章になるように構成を考 え、構成メモを作る。 5 構成メモを基に意見文を書いて友達と読 み合い、感想を伝え合う。 【振り返る】 6 説得力を持たせるために、どんなことに気 をつけて書いたかを振り返り、身につけた 「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考 え、これからの学習や生活に生かそうとい う意識を高める。	【知・技】 ・思考に関わる語句の量を増し、文章の 中で使っている。(1)オ ・文章の構成や展開について理解して いる。(1)カ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、筋道の通った文 章となるように、文章全体の構成や展 開を考えている。B(1)イ ・「書くこと」において、文章全体の構成 や書き表し方などに着目して、文や文 章を整えている。B(1)オ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学 習課題を明確にし、学習の見通しを持 って、粘り強く文章全体の構成や展開 を考え、反対意見とその対応を想定し た意見文を書こうとしている。	・道徳科や学級 活動での話し 合い。 ・意見と理由、反 対意見への対 応をメモで整理 する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	<p>友達といっしょに、本をしようかしよう</p> <p>2時間(読2) 教科書:P.194～197</p> <p>【言葉の力】 本と本のつながりを見つける</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 読んだ本の魅力や良さを見つけ、友達に薦める。(4下「本をみんなにすすめよう」)</p>	<p>●本と本のつながりを見つけ、本を紹介し合い、読書生活を広げることができる。 ◇グループで本を紹介する。</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことや読書の経験を振り返って、本と本のつながりを見つけて、グループで本を紹介するという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 グループでつながりのある本の紹介の仕方を考える。</p> <p>3 テーマや本と本のつながりを意識しながら、グループの発表を聞き合う。</p> <p>【振り返る】</p> <p>4 友達が紹介した本の中で読んでみたいと思った本について振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づいている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に本と本のつながりを見つけて自分の考えを広げ、グループで本を紹介しようとしている。</p>	<p>・生活の中の読書に生かす。</p>
1	<p>古文のえがく四季</p> <p>3時間(書2読1) 教科書:P.200～203</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 親しみやすい古文を音読し、言葉の響きを味わう。(5年「古文に親しむ」)</p>	<p>●古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方について、現代の自分たちと比べて考えることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 「枕草子」とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方について、自分たちと比べてみるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 「枕草子」の作者のものの見方や考え方を、自分たちと比べながら捉える。</p> <p>3 四つの季節の中から好きなものを選び、自分が感じるその季節のよさを文章に書く。</p> <p>4 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>5 昔の人のものの見方や感じ方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。B(1)ア</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、進んで古文とその解説文を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ろうとしている。</p>	
1	<p>心が動いたことを三十一音で表そう</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.204～209</p> <p>【言葉の力】 発見や感動を短歌で表す</p>	<p>●生活経験から題材を選び、全体の構成や書き表し方などに着目して、表現を整えて書くことができる。 ◇感じたことについて短歌を作る。B(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、発見や感動を短歌で表すという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 生活の中で心が動いたことを思い出し、連想メモを使って題材を集め、表現を工夫して、短歌を作る。</p> <p>【振り返る】</p> <p>3 短歌を読み合い、どんな表現の工夫をして短歌を作ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・語句と語句との関係について理解し、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ</p> <p>・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ</p> <p>・「書くこと」において、感想や意見を伝え合い、よいところを見つけていく。B(1)カ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く全体の構成や書き表し方に着目して推敲し、短歌を作ろうとしている。</p>	<p>・何かを呼びかけるポスターなどを作る際に、短い言葉で表現を工夫する。</p> <p>・連想メモを使って題材を集める。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	<p>熟語を使おう ・ことばあつめ</p> <p>2時間(知技2) 教科書:P.210～213</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 二字熟語の構成を理解する。(4下「じゅく語の意味を考える」)</p>	<p>●熟語の構成や使い方について理解することができる。</p> <p>-----</p> <p>1 熟語の構成や使い方について知るといふ学習課題を確かめる。 2 構成の五つの型を確かめる。 3 漢字の読み方と意味の関係を確かめる。 4 教科書の練習題に取り組み、理解を深める。 5 熟語の構成や使い方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(1)エ ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使ったり、語句の構成について理解し、語彙を豊かにしたりしている。(1)オ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、進んで熟語の構成や使い方について理解し、語彙を豊かにしようとしている。</p>	
1	<p>テクノロジーの進歩について考えよう 「弱いロボット」だからできること</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.214～225</p> <p>【言葉の力】 多角的にとらえる</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 筆者の考えを基にして自分の考えを広げる。(4下「数え方を生みだそう」)</p>	<p>●あるテーマについて、異なる面から見た複数の文章を読んだり自分の経験や知識と照らしながら多角的に捉え、自分の考えを深めることができる。 ◇文章を読んで考えたことをまとめる。C(2)ア</p> <p>つかむ 1 これまでに学習したことを振り返って、書かれていることを多角的に捉えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 『『弱いロボット』だからできること』を読み、書いてあることを確かめたり、「資料」の内容について考えたりする。 3 テクノロジーと私たちの関わりについて話し合い、自分の考えをまとめる。</p> <p>振り返る 4 テクノロジーと私たちの関わりについて、自分の考えをまとめた文章を書き、単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・文章の構成や展開について理解している。(1)カ</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ ・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に書かれていることを多角的に捉え、自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>・社会科の学習や生活の中などで、ニュースや新聞の報道を多角的に捉える。 ・インターネットの情報を活用して、物事を多角的に捉える。</p>
2	<p>資料を見て考えたことを話そう</p> <p>5時間(話開5) 教科書:P.226～231</p> <p>【言葉の力】 ・考えが明確に伝わるように話す ・資料と関係付けて話す</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 ・資料を活用して報告する。(5年「環境問題について話し合おう」) ・分かりやすく伝える。(4下「調べたことをほうこくしよう」)</p>	<p>●自分の考えが明確に伝わるように、話の構成を考え、資料と関係付けて話すことができる。 ◇資料から分かったことを基に、自分の考えをまとめて発表する。A(2)ア</p> <p>つかむ 1 これまでに学習したことを振り返って、資料から分かったことを基に、自分の考えを発表するという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 資料を読み、自分の考えをまとめる。 3 最も伝えたいことは何か、どの資料からどういうことを考えたのが明確になるように、話の構成を考え、発表の練習をする。 4 資料と関係付けて自分の考えを発表する。</p> <p>振り返る 5 自分の考えを明確に伝えるために、どんなことに気をつけて話の構成を考えたり資料を使ったりしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。A(1)イ ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く話の構成を考えたり資料と関係付けたりし、自分の考えを発表しようとしている。</p>	<p>・社会科や理科、家庭科で調べたことを発表する。 ・算数で自分の考えを説明する。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>日本語と外国語 ・方言と共通語</p> <p>4時間(書4) 教科書:P.232～237</p> <hr/> <p>既習事項との関連</p> <p>・和語、漢語、外来語について理解する。(5年「和語、漢語、外来語」)</p> <p>・ローマ字の書き方を確かめ、日本語の音が母音と子音で成り立っていることを理解する。(4上「ローマ字の書き方」)</p>	<p>●日本語と外国語を比べ、日本語の特徴に気付くことができる。</p> <p>◇様々な国の言葉について調べ、分かったことや考えたことをまとめる。</p> <hr/> <p>1 日本語と外国語を比べ、日本語の特徴を考えるという学習課題を確かめる。</p> <p>2 音と文字の関係から、日本語の特徴を捉える。</p> <p>3 文の組み立てと語順から、日本語の特徴を捉える。</p> <p>4 ほかの国の言葉について調べ、分かったことや考えたことをまとめる。</p> <p>5 日本語と外国語について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・文の中での語順について理解している。(1)カ</p> <p>・仮名の特質や、共通語と方言との違いを理解している。(3)ウ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで考えたことから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、日本語と外国語の特徴をまとめようとしている。</p>	<p>・外国語科において、音声や文字、文構造などについて、日本語と外国語との違いについての気づきを生かす。</p>
2	<p>伝記を読んで感想文を書こう 手塚治虫</p> <p>7時間(読5書2) 教科書:P.238～255</p> <p>【言葉の力】 伝記を読んで考えを深める</p> <hr/> <p>既習事項との関連 人物像を想像する。(5年「大造じいさんとがん」)</p>	<p>●伝記に描かれている人物の考えや生き方を読み取り、自らの考えを深めることができる。</p> <p>◇伝記を読み、感想文を書く。C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、伝記に描かれている人物の考えや生き方を読み取り、感想文を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 手塚治虫の考えや生き方を読み取る。</p> <p>3 興味を持った人物の伝記を読み、感想文を書く。</p> <p>振り返る</p> <p>4 どのような人物の、どのような生き方について感想文を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ</p> <p>・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に伝記に描かれている人物の考えや生き方を読み取り、自分の考えをまとめて、感想文を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	<p>「わたしの文章見本帳」を作ろう</p> <p>4時間(書4) 教科書: P.256～259</p> <p>【言葉の力】 文章のよさを見つけて生かす</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 文章のよいところを確かめる。(4下『言葉のタイムカプセル』を残そう)</p>	<p>●さまざまな文種の特徴やよさに気づくとともに、これまでに書いた文章を別の種類の文章に書き換えることができる。</p> <p>◇書いた文章を分類整理し、文章見本帳を作る。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、文章のよさを見つけて生かし、別の種類の文章に書き換えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 一年間で書いた文章を、種類ごとに整理する。</p> <p>3 書いた文章の中から一つ選び、文章の種類を換えて書き、文章見本帳を作成する。</p> <p>振り返る</p> <p>4 文章見本帳を友達と読み合い、文章の種類によって、書く時に気をつけることや工夫することにはどんな違いがあったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(1)ウ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ ◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。B(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に文章のよさを見つけ、そのよさを生かしながら別の種類の文章に書き換えて、文章見本帳を作ろうとしている。 	<p>・他教科等の学習で書いた文章を生かす。</p>